

# 電話から聴こえてくる子どもの声

## 1 死にたい

子どもたちの「死にたい」気持ちを訴える電話からは、学校や家庭の中での孤独感が背景にあることが感じられます。また「死にたい」と訴える子どもの中には、「死」という言葉に現実感がなく、苦しさから逃げたい気持ちが「死にたい」という言葉を言わせるのではないかとと思われる場合もあります。

## 2 貧困

全国から経済的な不安を抱える子どもからの電話があり、それらの子どもは一人親家庭が多いと思われます。また、制度が不十分なために支援が行き届かない病気や障害の親を持つ子どもからの電話や虐待を受けているという電話もあります。それらの背景には、社会問題としてマスコミなどに取り上げられている貧困家庭の子どもとの問題があります。そういった子どもは、自己肯定感が持てず、心の貧困に繋がることもあり、社会で自立していく力が持てないのではないかと考えられます。

## 3 精神疾患

精神疾患に苦しむ子どもたちから電話が掛かっています。「不安障害」「鬱」「適応障害」「統合失調症」とその病名は様々で、クラスや部活に於ける人間関係になじめず不適応を起こしたり、心に受けたダメージから回復できずに深刻化したり、また親の精神疾患が影響して幼いころから日常的に大変な思いをしていて心的に追い詰められてしまったなど、精神的に苦しんでいる子どもたちの姿がうかがえます。

## 4 人間関係(親子)

親の顔色をうかがい、いい子を演じている子どもたちが多い中、「自分に関心を向けてほしい」「ありのままを受けとめてほしい」といった電話が入ります。すべての人との関係性の土台となる乳幼児期の愛着形成において、親からの無条件の愛情を受けることで、愛着関係が確保でき自己肯定感を得られますが、その時期の関わりが薄く、愛着が不全なため自分に自信が持てず、成長した今でも「そのままの自分を受け止めてほしい」という気持ちを訴えてくるのだと考えられます。

## 5 人間関係(友だち)

多くの子どもたちが、周りとの人間関係に悩んで電話をかけてきています。自分を守るためには本当の自分を出してはいけないと偽りの自分を演じるうちに、自分の気持ちがわからなくなっています。陰で悪口を言われているのではないかと不安になりおびえています。こうした子どもたちの声から、自分や他者を信じる力が弱く友だち関係を築けない今の子どもたちの姿がうかがえます。

## 6 居場所

「学校にも家にも心休まる場所が無い」といったありのままの自分を受け止めてもらえる「居場所がない」という子どもたちからの切実な声が聞こえてきます。また家に居られずどこにも行く場所が無く、どうしていいかわからないという不安を訴える電話から、今では自分の身を置く場所さえも無いという、子どもの置かれた状況が伝わってきます。

今年度はより多くの皆様に子どもの実情を知っていただきたいと思い、年次報告書の概要版を作りました。今年度の電話の内容で特徴的なものを、三重県の子どもたちの声を中心に、全国からかかってくる子どもたちの声を参考にして分析しました。また社会的背景も考慮に入れています。



ひとりで悩まないで  
どんなことでもいい  
話したくなったとき  
電話してね  
あなたはひとりじゃない

【発行】NPO 法人チャイルドライン MIE ネットワーク  
〒514-0125 津市大里窪田町 2709-1  
TEL&FAX 059-211-0024  
E-mail info@childlinemie.net  
http://www.childlinemie.net/  
【サポート】子どもの心を受け止めるネットワークみえ

## 概要版

詳しくは、「年次報告」をご覧ください。



# チャイルドラインMIE・こどもほっとダイヤル 2014年度 年次報告

(2014年4月1日~2015年3月31日)

## 2014年度年次報告「はじめに」より

「死にたい」と子どもたちは訴えてきます。本当に死にたければ言葉にせず、行動する場合は殆どであると、多少自殺者の心理は心得ているつもりでも、電話を受ける側は決して穏やかではられません。昨年の「イライラする」から「死にたい」に子どもの気持ちの表現が変化したのはなぜか。内在しているものが変化したのか。それとも単なる言葉の違いに過ぎないのか。

どんな内容と意図をもって、どこまで深刻に子どもたちが「死にたい」と思っているか、完全に真意を汲み取ることはできないと思っています。しかし少なくともそういう気持ちであることは理解できますし、その気持ちを受け止めていきたいと私たちは思っているのです。

子どもの声は教えてくれます。家庭のあり方が確実に変化していることを。内弁慶という言葉は今や死語？ 子どもたちは親の期待に添うために、こうあって欲しいと願う親の気持ちを裏切らないために、家の中で偽りの自分を装いつづけていると話します。勿論家が一番安心できる、と話してくれる子どもも大勢います。でもその言葉に次いで、鍵のかかった自分の部屋だったりトイレだったりと言われることもあるのです。

本当の自分の姿を見せたら親が悲しむからと彼等彼女等は云います。又、期待はずれと思われて諦められてしまうのもつらい、とも。

一番安心出来るはずの我が家で、自分を解放することができない。素の自分ではいられないことがどれほどの心の痛みになっていくか。「しんどい、居場所がないから死んでしまったほうがいい」と訴えます。

チャイルドラインもこどもほっとダイヤルも、子どもからの発信数が減少しています。こどもほっとダイヤルの発信数減の主要因は、大きく県北部からの減少によりますが、なぜかという真意は計りかねています。減少の延長線上で私たちが子どもの声を背景に一定確認を得られるのは、「いじめ」の問題だけと云えるかも知れません。

昨年比でいけば、いじめの電話そのもの自体も減少しています。特定につながるものは最も顕著です。このことの裏付けが現場でのいじめの減少であるなら嬉しい限りで、私たちは何ら心配することはないと思っています。しかし子どもたちの電話からそう判断できかねている現実があります。

何故なら「特定した方がいい？」という受け手の問いかけに対し、特定して欲しくないという返事が戻されてくるからです。そして続きます。「何にも変わらんもん」とかそれどころか「かえって悪くなるから、いじめが陰湿になるだけ」と。話をきいてみると解決のあり方が、どうも子ども主体になっていないようです。そこに関わっている大人がジャッジをして白黒をつけ謝らせるとか、いじめた側が明確ならいじめた側を謝らせることで問題解決ということにしまっている。どうもそういうことのようなのです。

いいとか悪いとかという次元ではなく、いじめる側にもいじめられる側にもそれぞれ「気持ち」があります。「どうしたいの？ どうしてほしいの？」という子どもの気持ちは全くといっていいほど無視されている、というより考えてもらったこともないと、子どもたちは思っています。だからこどもほっとダイヤルへの再度の訴えにもなるのでしょうか。

# 子どもが安全に安心して健やかに育つ社会づくりを目指して 2014年度 子どもの声を受け止める

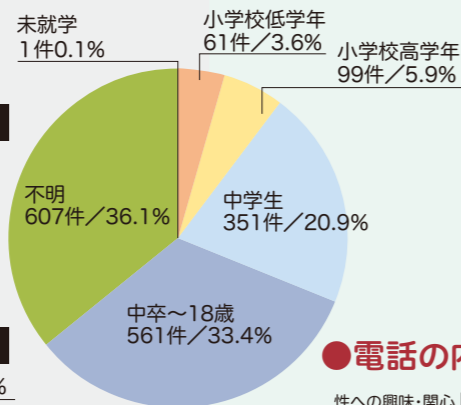
～子ども専用電話「チャイルドラインMIE」・「こどもほっとダイヤル」の電話データからみえる子どもの状況～

## 『チャイルドライン MIE』の報告 ☎0120-99-7777

チャイルドラインは、全国72の団体がネットワークを組み実施している子ども専用電話です。三重県では毎日実施できていませんが、実施のない時は開設している全国のチャイルドラインで受けてもらっています。2014年度チャイルドラインで受けている三重県発信の電話は、5,568件ありました。

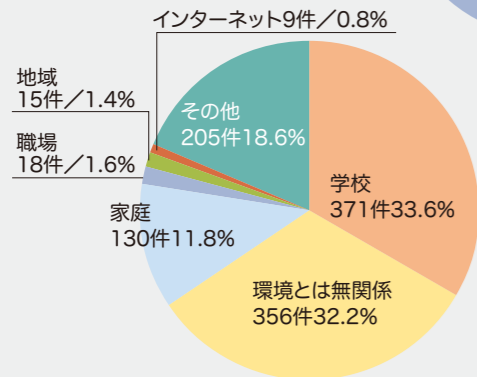
※チャイルドライン支援センターのデータベース（4月6日までに入力完了データ）を使用

### ●年齢

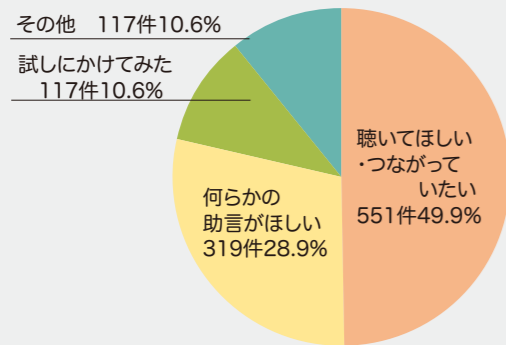


チャイルドラインでは、安心して話せる電話かどうか、無言や一言の電話が続いて、やっと話し始める子どももいます。名前や年齢・性別など受け手から聞くことはありません。会話が成立した1104件をデータ化しています。「子どもの気持ち」と「問題の背景」は複数選択もあります。

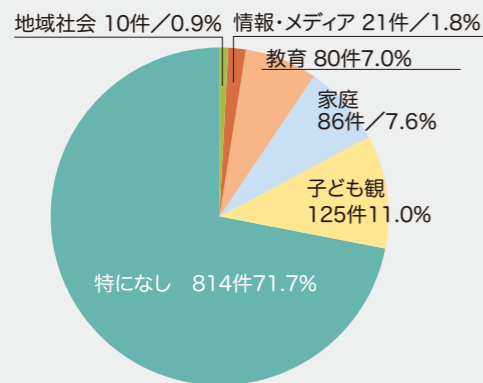
### ●関係する場所



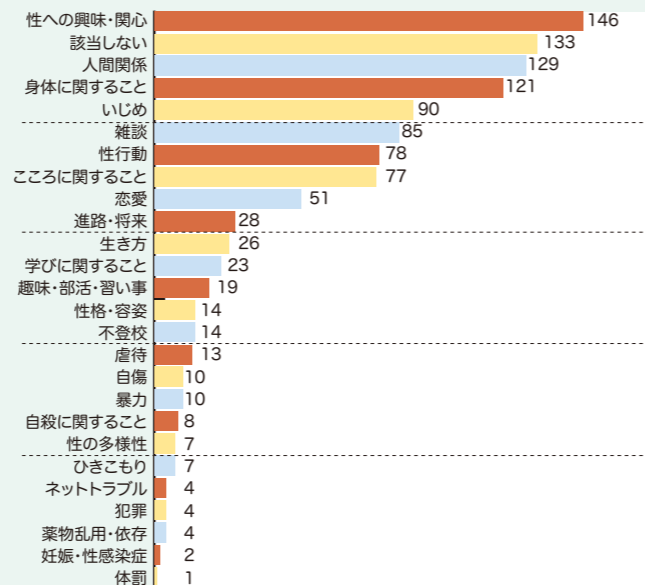
### ●電話をかけた動機



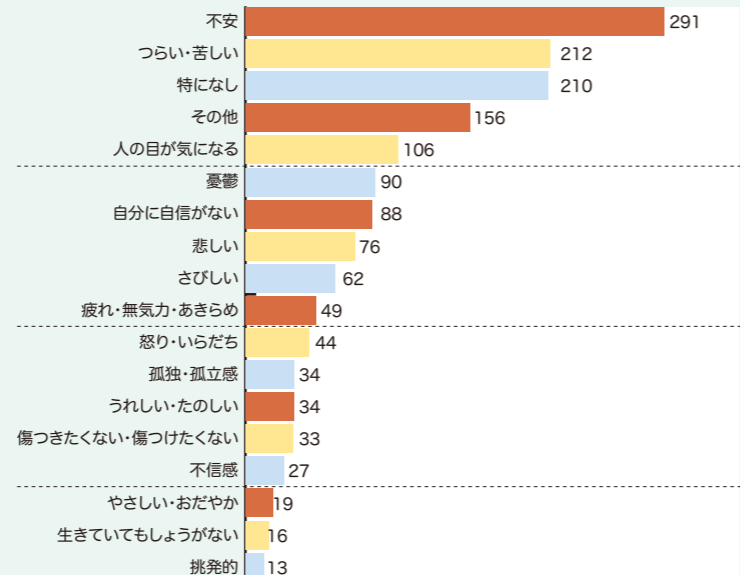
### ●問題の背景



### ●電話の内容



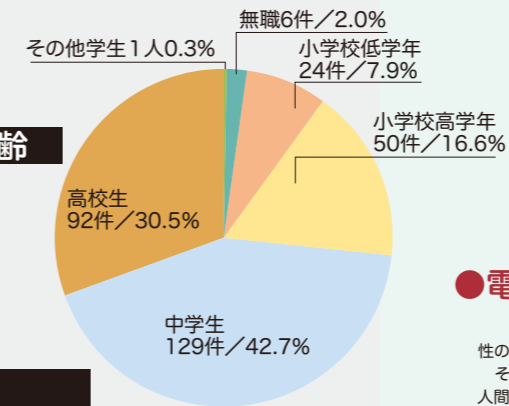
### ●子どもの気持ち



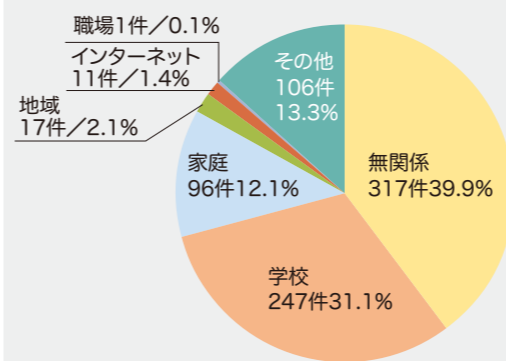
## 『こども ほっとダイヤル』の報告 ☎0800-200-2555

三重県では、三重県子ども条例に基づき、子ども専用電話相談『こどもほっとダイヤル』を開設しました。子どもの声を受け止め、子どもとともに状況や気持ちを整理しながら子ども主体の解決方法を考えます。専門的な対応が必要な場合は関係機関につなぐことができます。2014年度は、1,667件の電話を受け、児童相談センターに4件、教育委員会に3件を繋ぎました。

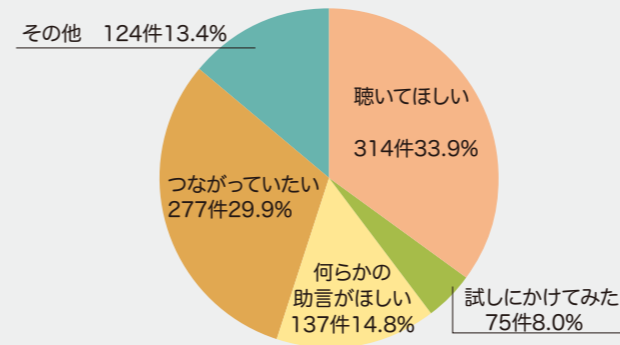
### ●年齢



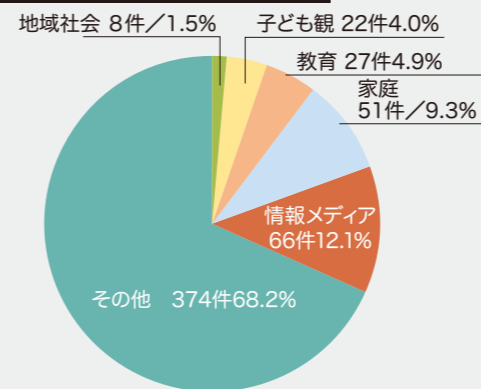
### ●関係する場所



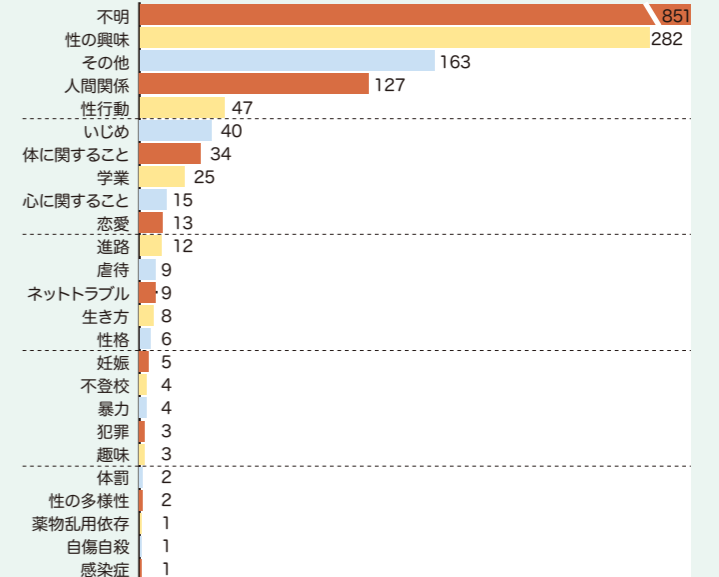
### ●電話をかけた動機



### ●問題の背景

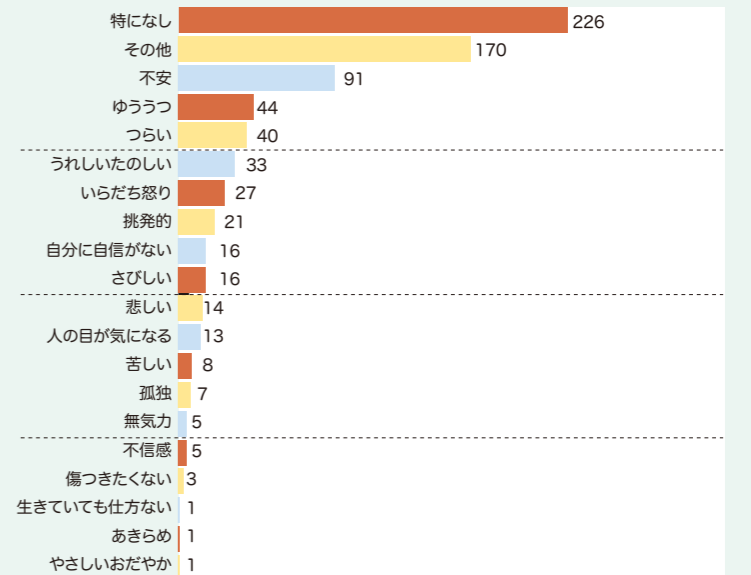


### ●電話の内容



「不明」には、無言や即切れが含まれています。「その他」は、どこにも分類されない内容の電話です。

### ●子どもの気持ち



「特になし」は、きいてほしい・つながっていたい内容の電話が含まれます。

